

令和2年度 学校関係者評価書

学校名 北海道北広島西高等学校

1 本年度の重点目標

- (1) 「学び直し」と「キャリア教育」を軸に、学ぶことの意義や生涯にわたって学び続けることの大切さを理解させ、主体的に学習する意欲と態度を育てる。
- (2) 教育活動全般を通じて、規範意識の向上と自主性・自律性の育成を図り、多様な価値観を持った人たちと協働できる力を育てる。
- (3) 地域教育資源の積極的な活用などにより、社会とのつながりの中で自己有用感や自己肯定感を高めさせる教育活動の充実を図る。

組織名 学校評議員会

評価者

学校評議員 5名

2 自己評価結果

①②の基準: A= 3.3以上 B= 3.0以上 C= 2.9以下 D= 2.5以下

評価項目・指導等		① 達成 状況	② 取組 の適 切さ	改善の方策	③達成 状況の 適切さ	④取組 の適切 さ	⑤今後 の改善 方策の 適切さ
項目	小 項 目						
保護者・ 地域との 連携等	ホームページや一斉メール配信等での情報発信を通じて、保護者との情報共有や連携を図っている。	A	A	○「発信」だけでなく、メールによる欠席連絡・健康調査等「受信」も充実させ、保護者との情報共有・連携を図る。			
	PTA活動が活発に行われている。(今年度活動中止)			○コロナ禍が終息した際に、地域の行事やボランティア活動への積極的な参加・協力を再開する。	A	A	A
	施設・設備の点検・整備や避難訓練等の防災教育の充実により、生徒が安全・安心に生活できる環境・体制を整えている。	A	A				
学習指導	「学び直し」の取組を軸に、基礎・基本の徹底等、学力の向上を図っている。	C	A	○学校設定教科「ベーシック・スタディ」の学習内容の見直しと、各教科の学習との連携の強化を進める。			
	授業規律を徹底し、主体的・協働的に学習する態度の育成を図っている。	C	A	○教員間の日常的な授業互見を促進し、双方向的視点での授業改善に向けた取組の推進を図る。	B	A	A
	「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、授業改善に取り組んでいる。	C	A				
生徒指導	規範意識の向上と基本的生活習慣の定着に取り組んでいる。	B	A	○クラス・リーダー会議の主体とした、生徒提案型の授業規律の確立。			
	いじめの未然防止・早期発見・早期解消に取り組んでいる。	A	A	○生徒会主体による、生徒提案型の「いじめ」や「ネットトラブル」の未然防止策の確立。	A	A	A
	事故や問題行動等の未然防止に向け、開発的・予防的な指導や相談に取り組んでいる。	A	B				
進路指導	生徒の自己実現に向け、3年間を見通した組織的・体系的な進路指導(キャリア教育)が行われている。	C	A	○進路実現に主体的に取り組む生徒を育成し、進路探究活動やポートフォリオを活用したキャリア教育の充実を図る。			
	外部の教育力を積極的に活用し、広い視野で、自らの進路を切り拓く意欲と、社会人として必要な能力の向上を図っている。	B	A	○大学進学希望者を含む全ての生徒の進路希望に対応できる指導体制の充実と、諸調査の分析により指導の改善を図る。	A	A	A
	説明会等を通じて、保護者に進路情報の周知が行われ、適切な進路選択に向けて、保護者との連携が図られている。	B	A				
学校運営	「重点目標」や「育成を目指す資質能力」を踏まえた明確な目的・目標のもと、学校として教育活動の改善・充実に取り組んでいる。	C	A	○令和2年12月に「目指す生徒像を考える委員会」を立ち上げ、あらためて本校の「スクールミッション」の再構築に入っている。今後、委員会からの提言を受けて、分掌・学年が主体となり、学校課題等の改善に向けて取り組んでいく。			
	教育のプロとしての自信と使命感を持ち、生徒や保護者、また地域から信頼される職員となるように努めている。	B	A		A	A	A
	「働き方改革」の推進に向けて、職員の意識改革や学校運営の工夫・改善を図っている。	C	A				

※「①達成状況」:教員自己評価の結果 「②取組の適切さ」保護者評価の結果 (基準は上記参照)

※学校評議員の皆さまは、③④⑤を次の基準で評価して、回答欄(空欄)に記入して下さい。

A:十分である。 B:おおむね十分である。 C:やや不十分である。 D:改善を要する。